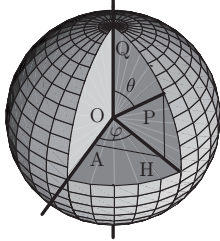


- 1 (1) 原点中心半径 $a > 0$ の球面を S で表す. S 上の点 P の球面座標 θ, φ によって \vec{OP} の成分を表わせ. (これを $\mathbf{r}(\theta, \varphi)$ とおく.) また θ, φ の値の取りうる範囲を書け.



(2) P をとおる θ 曲線, φ 曲線を図中に書き入れよ.

(3) $\mathbf{r}(\theta, \varphi)$ を偏微分して得られるベクトル $\mathbf{r}_\theta, \mathbf{r}_\varphi$ を a, θ, φ を用いて成分表示し, 図中に書き入れよ.

(4) $\mathbf{r}_\theta \times \mathbf{r}_\varphi$ を a, θ, φ を用いて成分表示せよ. また, $\mathbf{r}_\theta \times \mathbf{r}_\varphi$ と \mathbf{r} は平行になることを確かめよ.

(5) 面積要素 $dS = |\mathbf{r}_\theta \times \mathbf{r}_\varphi| d\theta d\varphi$ を求めよ.

(6) S の面積を求めよ.

(7) S の $z \geq \frac{a}{\sqrt{2}}$ である部分の面積を求めよ.

(8) S を外向きに向き付ける. $\mathbf{r} = (x, y, z)$, $r = |\mathbf{r}| = \sqrt{x^2 + y^2 + z^2}$ とおく. ベクトル場 $\mathbf{A}(x, y, z) = \frac{\mathbf{r}}{r^3}$ を S 上で面積分せよ.